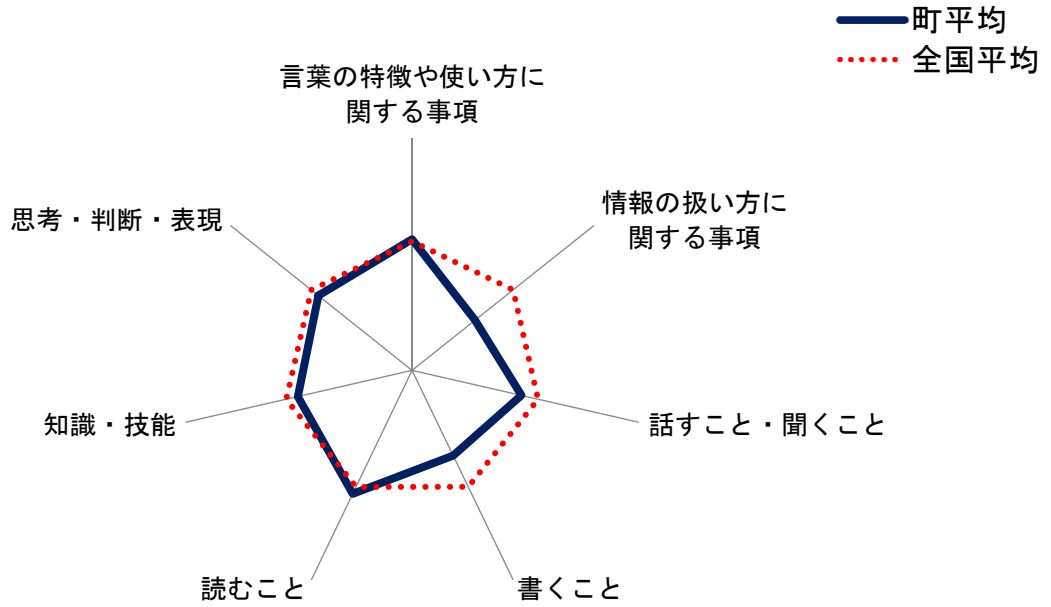
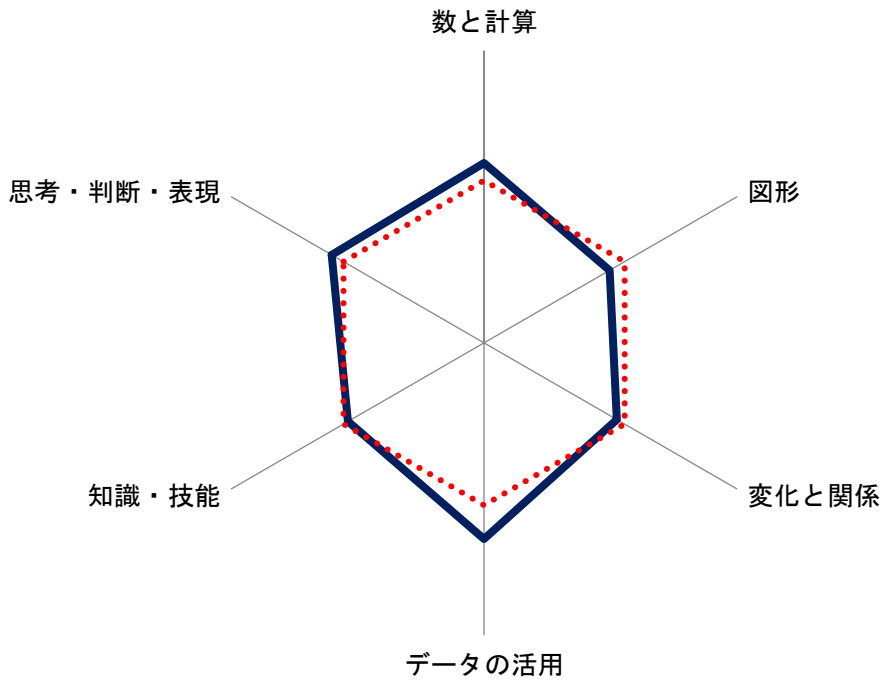


○ 教科に関する調査 (全国の平均正答率との差)

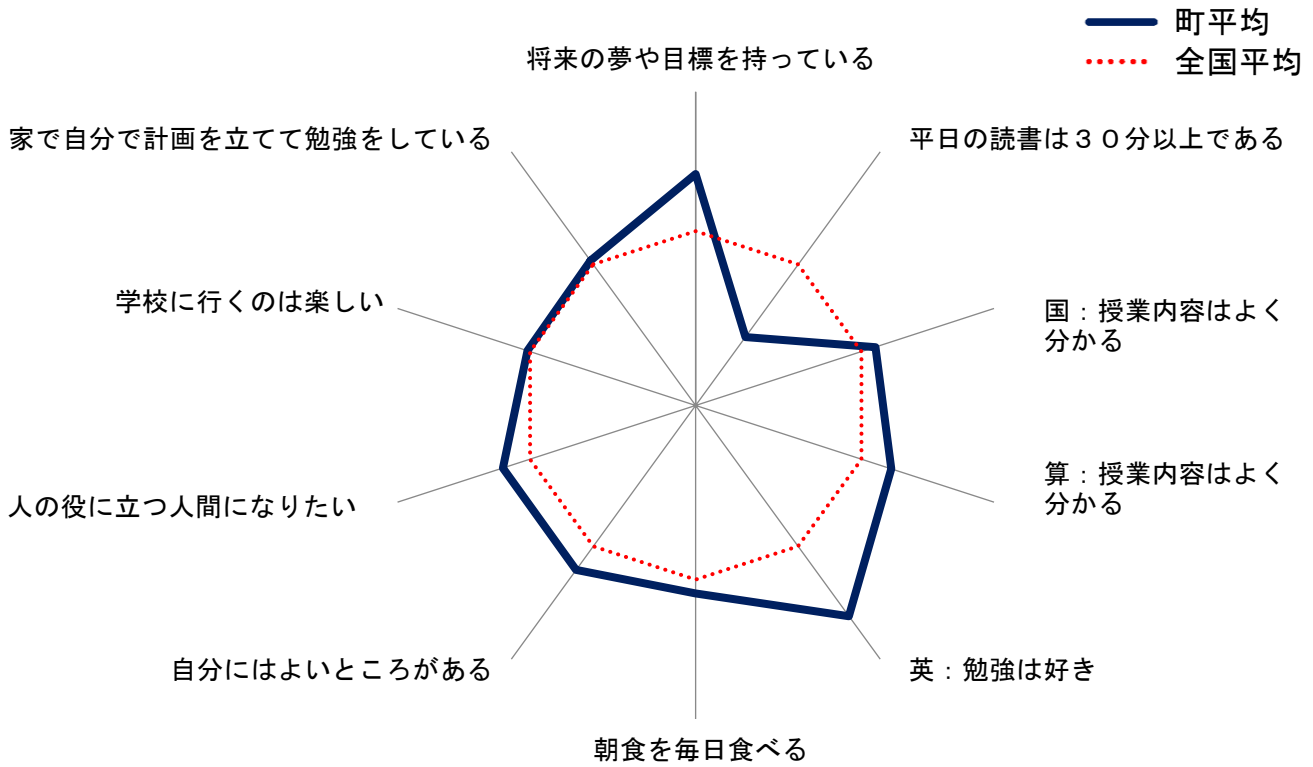
【国語】



【算数】



○ 児童質問紙調査 (全国の平均回答率との差：肯定的な回答)



○ 結果の分析と改善策

教科に関する調査では、算数の「データの活用」の項目が全国平均を大きく上回っているが、国語の「情報の扱い方に関する事項」「書くこと」の項目が全国平均を大きく下回っている。また、国語、算数ともに「知識・技能」の項目が全国平均を下回っており、基礎的な知識及び技能の定着に課題が見られる。今後は、これまで培われてきた愛媛教育のよさと適切なICTによる教育を効果的に組み合わせることで、より質の高い授業改善に取り組んでいくことが望まれる。

児童質問紙調査では、「英語の勉強は好き」「将来の夢や目標を持っている」「人の役に立つ人間になりたい」などの項目が全国平均を上回っており、自己肯定感を高める教育活動の推進の成果がうかがえる。一方、「平日の読書時間は30分以上である」の項目が全国平均を大きく下回っている。今後は、電子版読書通帳「みきゃん通帳」を効果的に活用することにより、日々の読書活動のより一層の充実を図ることが望まれる。